

栄小サポートだより

報道等でもご存じの通り、新型コロナウイルスの感染が十勝でもおきています。「もし感染したらどうしよう」「この先感染はどこまで広がるのだろう」など心配の種はたくさんあります。しかし、このコロナに対する不安や恐れが過剰になると、「あってはならないこと」がおきてきます。それは【**偏見や差別**】です。新型コロナウイルスに感染した患者さんやその家族に対する差別、医療関係者やその家族から新型コロナウイルスがうつるのではないかといいた根拠のない偏見、「あの人が感染したのではないか」という噂を広げる誹謗中傷などが日本でもおこっています。

不安に思うこと自体は当たり前なこと、決して悪いことではありません。「適切な不安」は感染から身を守ることに繋がります。不安の正体は何なのか、心に問いかけ、不安と上手に向き合っていくことが大切です。差別することで不安が解消することはありません。私たちに必要なのは、患者さんやその家族の大変さを押し量り相手を思いやること、つまり、**相手の立場を想像する力**です。

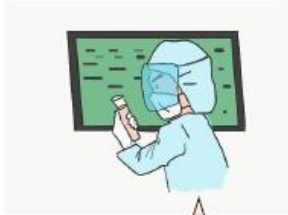
保護者の皆様には、情報を鵜呑みにせず、正しい知識をもとに思いやりと想像力をもって物事をとらえる大切さを、自らの言動を通して、また話し合いをする中で、お子様にお伝えいただきますようお願いいたします。

と さべつ かんせん ひろめよう かんじゅ こころ
 止めよう差別の感染 広めよう感謝の心

ころなういるす ひと
 コロナウイルスが うつると いわれ、かなしんでいる人が います。



①
 コロナウイルスに、
 かんせんしてしまっただ。



②
 おいしゃさんたちが、
 いっしょうけんめい なおしてくれた。



③
 げんきになって、かぞくもよろこんだ。



④
 ところが、「コロナがうつる」と、
 ともだちから いじめられた…

なぜ このようなことが おきるのでしょうか。
 わたしたちは どうすれば いいのでしょうか。

ころなういるす
 コロナウイルスの ことで
 いじめたり、なかまはずれに したり することは、
ぜったいに いけません!

新型コロナウイルスと たたかっている 人たち

ひさしぶりの 学校 ひさしぶりの 友達

そんな中 今 このときも

がんばって はたらいてくださっている 人たちが います

お医者さんや 看護師さん 検査をする人

ごみを集める人たちなどに

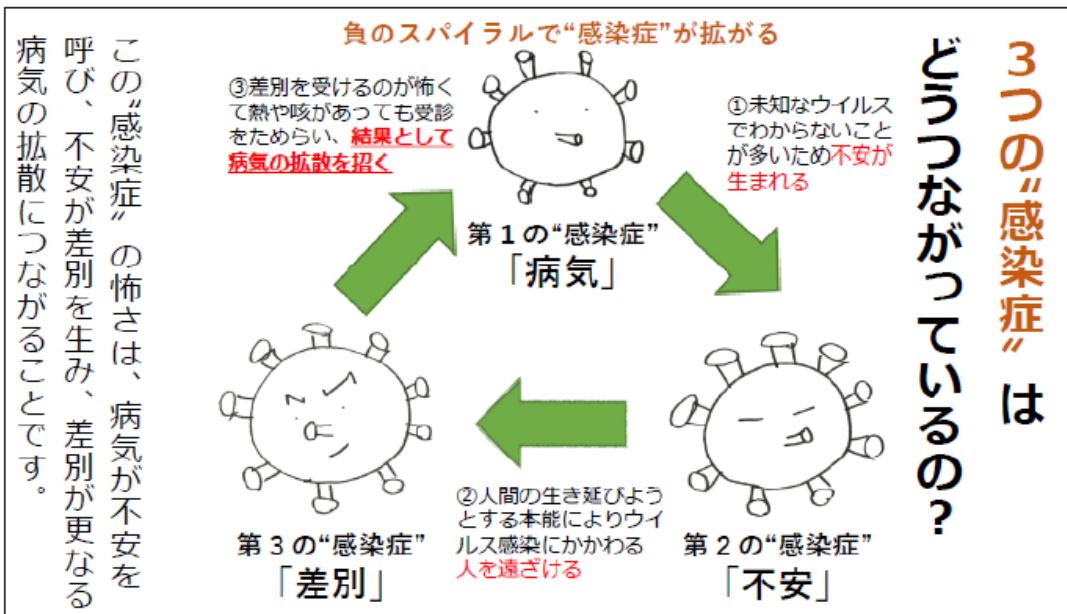
温かい心 を 温かいことば を とどけよう



保護者の皆様へ

お子様と一緒に読んでください。

偏見や差別のもととなる「不安」を解消するためにも、正しい情報を得ること、悪い情報ばかりに目を向けないこと、差別的な言動に同調しないことが大切です。偏見や差別は、決して許されることではありません。



日本赤十字社HP「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!～負のスパイラルを断ち切るために～」より抜粋

東京都教育委員会が作成したパンフレットです。大変わかりやすいので、参考にさせていただきます。

発行者：東京都教職員研修センター 研修部教育開発課